

日本経営学会第68回大会……………	1	日本学術会議第16期会員 の推薦について……………	3
日本経営学会第69回大会……………	2	日本経済学会連合英文年報……………	3
「機関誌発行に関する基本方針」 の部会における検討状況……………	2		
経営学会国際連合アメリカ大会……………	2		

日本経営学会第68回大会 1994.9.7～10 於：山梨学院大学

日本経営学会第68回大会は、統一論題「現代企業と社会」の下に、二つのサブ・テーマ「地域振興と企業経営」、「企業倫理と経営行動」を設けて、本年9月7日(水)から10日(土)にかけて(7日は理事会と小委員会のみ)、山梨学院大学で開催されます。当番校山梨学院大学では、昨年末に大学所属の会員からなる大会準備委員会を発足させ、「プログラム委員会」(二神恭一委員長)とも密接な連絡を取りながら、大会の準備を進めており、現在までに報告者と討論者が次のように決まっています。(敬称略)

1) 「地域振興と企業経営」

報告者：真野 脩(北海道大学) 三浦 康彦(山梨学院大学)
吉田 猛史(名古屋大学) 松本 譲(鹿児島大学)
討論者：安藤 陽(埼玉大学) 水津 雄三(阪南大学)

2) 「企業倫理と経営行動」

報告者：中村 瑞穂(明治大学) 真船洋之助(日本大学)
飫富 順久(和光大学) 吉原 英樹(神戸大学)
討論者：植田 栄二(四日市大学) 赤岡 功(京都大学)

なお、自由論題の報告者は、4月末までに行われる各部会からの候補者推薦に基づいてプログラム委員会で決定されることになっています。

(大会委員長からの一言)

近頃やっと桃もほころびはじめました。皆様をお迎えする頃は、丁度おいしい実となっている事と思います。地方の小さい大学が大きな学会を催すことに慶びを感じますが、何せ駒不足、経験不足の準備委員は懸命に準備に腐心しております。

甲斐路の夏は、想像外に暑うございますが教室は、多分温調して快適温にするよう努めます。芙蓉の頂きを眺め、南アルプス、八ヶ岳を望んで、静かにゆっくりご検討できると信じておりますので、どうぞ会員の皆様是非おいで下さい。未熟な者が、あらん限りの努力をしますので景色を楽しみ併せて皆様のご研究にお役に立てればと願ってお待ち致しております。

(大会委員長 高橋敏夫)

日本経営学会第69回大会（1995.9）

1995年の日本経営学会第69回大会は大阪経済大学において開催される予定で、同大学の
上田慧教授をはじめ関係者の方々のご尽力
によって、その準備が着々と進められています。

この大会の統一論題については、昨年の暮
れに全理事を対象にして実施されたアンケ
ート調査の結果を参考にしながら、プロ
グラム委員会（島袋嘉昌委員長）で検
討が行われており、委員会としての統
一論題案を具体的にまとめる段階に入
っています。統一論題のシ

ンポジウムに関して、論点を明確にする
ために、報告者、討論者、司会者等の
関係者が、事前に打合せ会をもつよう
にする等の検討も行われています。

ワークショップについても従来どおり
設けますので、会員の皆さんが予め
企画を用意しておいていただき、公
募の際には応募して下さい。公
募の際には応募して下さい。公
募の際には応募して下さい。

「機関誌発行に関する基本方針」の部会における検討状況

昨年9月、理事長より、各部会ごとに「機
関誌発行に関する基本方針」について、3
月末を目途として検討依頼がなされま
したが、いずれの部会においてもこの
基本方針に対する賛成が得られました。
この結果をうけて、

機関誌問題検討委員会では、機関誌に
関するより具体的な検討に着手する
とともに、7月中旬までには具体案
の作成を行うこととなっています。

経営学会国際連合アメリカ大会

昨年4月の学会ニュースNo.3で既報の
通り、経営学会国際連合（IFSAM）の
第2回大会が今年8月17日から20日
にかけて、アメリカのテキサス州ダ
ラスのLoews Anatole Hotelで開
催されます。現在R.Osbornプロ
グラム委員長の下で着々と準備が
進められています。既に報告希望
の申し込みは締め切られ、近々
詳細なプログラムと参加希望の登

録が開始される予定です。

日本に割り当てられている報告者
枠に尚余裕がありますので、何らか
のパネルディスカッション乃至シ
ンポジウムを開催してはどうか
との示唆がプログラム委員長から
参っております。現在考慮中ですが
、ご関心のおおりの向きは、至急
日本プログラム代表委員森昭夫氏
までご連絡ください。

日本学術会議第16期会員の推薦について

日本経営学会としては、日本学術会議第16期会員候補者として、木元進一郎、二神恭一、森昭夫の三氏の届出を行いました。3月8日付で日本学術会議より、この三名の会員候補者の資格の認定の通知がありました。会員及び補欠の会員として推薦すべき者を決定す

る推薦人会議は、第3部関係については、5月16日に行われる予定であります。さらに、6月中旬には、日本学術会議を經由して内閣総理大臣へ推薦が行われ、7月22日には、第16期会員の任命が行われることになっていま

日本経済学会連合英文年報

日本経済学会連合の英文年報(Information Bulletin) 第13号が本年1月に発行されました。この第13号には、他の10学会とともに、

日本経営学会のここ数年にわたる活動が、経営学会国際連合東京大会を含めて紹介されています。

〔編集後記〕この号は昨年の第3号にならって編集されました。掲載事項については、高橋敏夫（第68回大会）、島袋嘉昌（第69回大会、日本学術会議関係）、村田稔（機関誌問題、英文年報）、森昭夫（経営学会国際連合アメリカ大会）の諸会員から第一次原稿の提供を受け、またニュースの作成の事務については、大西勝明理事と小松章幹事のご協力を得ました。ここに記して感謝の意を表します。（編集担当 村田和彦）
